

蚕桑・鮎貝・荒砥・東根各小学校の統合は

町長 当面は統合しない



小口尚司議員

地域では小学校統合の話も出ているが

小口

平成27年4月、統合開校と鷹山小学校の荒砥小学校への統合が決定したが、地域では他の4つの小学校もいずれ統合するとの話も出ているが町長の所見を問う。

町長

平成23年2月に教育委員会で見直しを行な

った計画にもとづいてすすめている。地域の方からの「地域の学校」としての熱い思いや地域の公的施設としての役割、少人数指導、通学距離などを考慮し、当面は統合せず、今後の出生数を見据えながらあらためて検討する。各地域の方々には今後まちづくり座談会などで丁寧

に説明していく。
地域の特色を生かした独自の小学校づくりは

小口

小規模校であっても授業や学校行事を合同で行うことや、地域に密着した、地域の特色を生かした独自の小学校づくりが必要ではないか。

教育長

授業やその他の学校行事等で学校間の交流をして、多様な考え方に触れる機会、学び合いの機会、切磋琢磨する機会を通してたくましく成長する子どもを育てるために、今後も白鷹町が持っている地域資源を活用して、特色ある教育をより一層進めていきたい。

※
コミュニティ・スクール制度への対応は

小口

これからの小学校の在り方を考えるとき、地域の教育力や社会力を活用するためにもコミュニティ・スクール制度の検討も必要かと思うが。

教育長

現在行なっている学校評議員制度の成果・課題をしっかりと検証しながら、どのようなコミュニティ・スクールがふさわしいのかを含め、本町なりの考え方を整理して検討していきたい。

この他、スポーツ拠点施設についての質問がありました。



東根小学校 田の草とり

※コミュニティ・スクール制度とは保護者や地域の皆さんが合議制の機関である学校運営協議会を設置して、一定の権限を持って学校運営に参画すること。
一定の権限とは、校長の作成する学校運営の基本方針の承認とか、学校運営についての予算確保、さらには教職員の任用に関しても意見を述べることができる。そしてそれを尊重しなければならないなど。